

応用電磁気学課題レポート

磁場分布の計算

1st. 2018/07/09

Lst. 2020/11/07

ビオサバールの法則3

観測点における磁束密度ベクトル

まとめて電流素

電流 微小線素

外積(電流を観測点に向かう方向とその直交方向に分離し、直交成分の方をとる)

電流素から観測点に向かう単位ベクトル

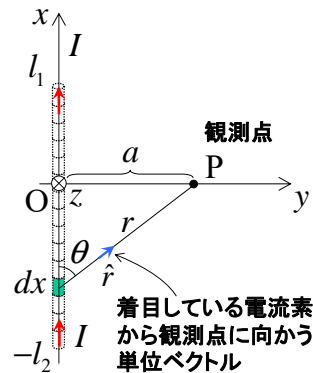
$$d\vec{B} = \frac{\mu_0}{4\pi} \frac{I d\vec{l} \times \hat{r}}{r^2}$$

SI単位系で定義された定数 (μ_0 は真空の透磁率)

電流素から観測点までの距離

ビオ-サバールの法則の例題1

x軸上を流れる有限長直線電流が、y軸上でa離れた位置にある観測点Pに作られる磁束密度の大きさを求めよ。



解法1(オードックスな方法)

変数をすべてxのみの関数に書き換える。

$$\begin{cases} \sin \theta = \frac{a}{r} = \frac{a}{\sqrt{a^2 + x^2}} \\ r = \sqrt{a^2 + x^2} \end{cases}$$

$$dB_p = \frac{\mu_0 I}{4\pi} \frac{dx \sin \theta}{r^2} = \frac{\mu_0 I}{4\pi} \frac{a}{(a^2 + x^2)^{\frac{3}{2}}} dx$$

これを $x=-l_2$ から $x=l_1$ で積分する。即ち、

$$B_p = \int_{-l_2}^{l_1} dB_p = \int_{-l_2}^{l_1} \frac{\mu_0 I a}{4\pi (a^2 + x^2)^{\frac{3}{2}}} dx$$

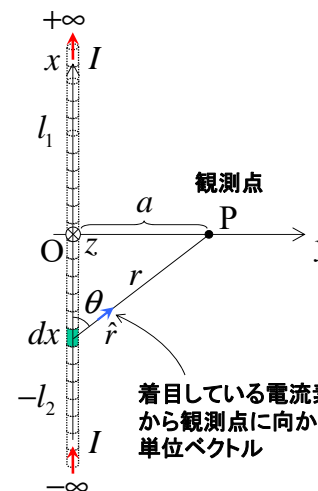
ここで、次の積分公式を使う。

$$\int \frac{1}{(a^2 + x^2)^{\frac{3}{2}}} dx = \frac{x}{a^2 \sqrt{a^2 + x^2}} + C$$

答え $\vec{B}_p = \frac{\mu_0 I a}{4\pi} \left(\frac{l_1}{a^2 \sqrt{a^2 + l_1^2}} + \frac{l_2}{a^2 \sqrt{a^2 + l_2^2}} \right) \hat{z}$

無限長直線電流が作る磁場

x軸上を流れる無限長直線電流がy軸上でa離れた位置にある観測点Pに作られる磁束密度ベクトルを求めよ。



$$\begin{aligned} \vec{B}_p &= \frac{\mu_0 I a}{4\pi} \left(\frac{l_1}{a^2 \sqrt{a^2 + l_1^2}} + \frac{l_2}{a^2 \sqrt{a^2 + l_2^2}} \right) \hat{z} \\ &= \frac{\mu_0 I}{4\pi a} \left(\frac{l_1}{\sqrt{a^2 + l_1^2}} + \frac{l_2}{\sqrt{a^2 + l_2^2}} \right) \hat{z} \\ &= \frac{\mu_0 I}{4\pi a} \left(\frac{1}{\sqrt{(a/l_1)^2 + 1}} + \frac{1}{\sqrt{(a/l_2)^2 + 1}} \right) \hat{z} \end{aligned}$$

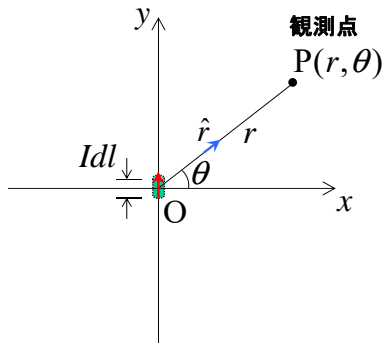
$l_1, l_2 \rightarrow \infty$ の極限を取ると、

$$\lim_{l_1, l_2 \rightarrow \infty} \vec{B}_p = \frac{\mu_0 I}{4\pi a} \frac{1}{2} \hat{z} = \frac{\mu_0 I}{2\pi a} \hat{z}$$

答え $\vec{B}_p = \frac{\mu_0 I}{2\pi a} \hat{z}$

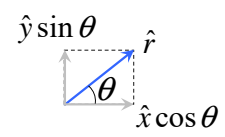
微小電流が任意の点に作る磁場 ⁵

微小長さ Δl [m] に電流 I [A] が流れている。点 P の磁束密度を求めよ。
(演習書, 例題6.5)



$$d\vec{B} = \frac{\mu_0}{4\pi} \frac{Id\vec{l} \times \hat{r}}{r^2}$$

$$\begin{cases} \hat{r} = \hat{x} \cos \theta + \hat{y} \sin \theta \\ d\vec{l} = dl \hat{y} \end{cases}$$



$$d\vec{l} \times \hat{r} = dl \hat{y} \times (\hat{x} \cos \theta + \hat{y} \sin \theta) = dl \cos \theta (-\hat{z})$$

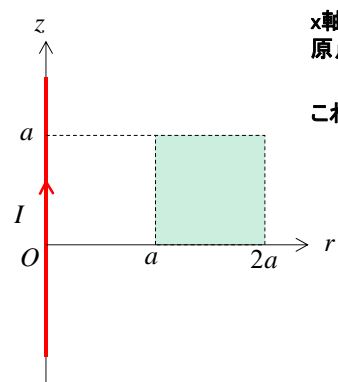
又は,

$$d\vec{l} \times \hat{r} = dl \sin \left(\frac{\pi}{2} - \theta \right) (-\hat{z}) = dl \cos \theta (-\hat{z})$$

$$d\vec{B} = \frac{\mu_0 Idl}{4\pi} \cos \theta (-\hat{z})$$

磁束の計算

z 軸上を流れる無限長直線電流がある。アンペアの法則を使わずに、 $r=a$ から $r=2a$ および $z=a$ で囲まれた部分を貫く磁束を求めよ。



x 軸上を流れる有限長電流が z 軸上で原点から r 離れた位置に作る磁場は $\vec{B}_P = \frac{\mu_0 I}{2\pi r} \hat{\phi}$

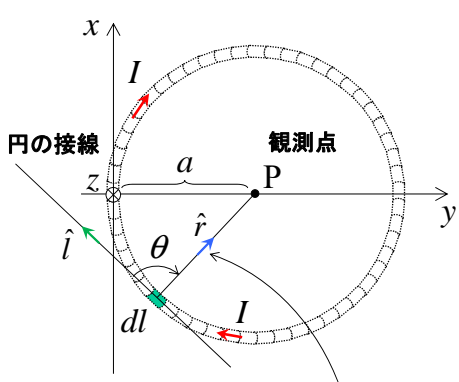
これを面 S 上で総和する。

$$\begin{aligned} \Phi_m &= \int_S \vec{B} \cdot d\vec{s} \quad \text{磁束の定義} \\ &= \int_S B \hat{\phi} \cdot d\vec{s} \hat{\phi} \\ &= \int_S B ds = \int_S B dr dz \\ &= \int_{z=0}^a \int_{r=a}^{2a} B dr dz \end{aligned}$$

$$\Phi = \frac{\mu_0 I a}{2\pi} \ln 2$$

ビオ-サバールの法則の例題2 ⁷

半径 a の円形ループが xy 平面上にある。 y 軸上で原点から a 離れた位置にある観測点 P (円形ループの中心) に作られる磁束密度ベクトルを求めよ。



$$d\vec{B} = \frac{\mu_0}{4\pi} \frac{Id\vec{l} \times \hat{r}}{r^2}$$

着目している電流素の位置を変えても、 θ と r は常に一定になる。

$$\begin{cases} \theta = 90^\circ \quad \text{const.} \\ r = a \quad \text{const.} \end{cases}$$

$$d\vec{B} = \frac{\mu_0}{4\pi} \frac{Idl}{a^2} \hat{z}$$

$$\vec{B}_P = \oint_C d\vec{B} = \frac{\mu_0 I}{4\pi a^2} \int_0^{2\pi a} dl \hat{z}$$

$$\therefore \vec{B}_P = \hat{z} \frac{\mu_0 I}{2a}$$

着目している電流素から観測点に向かう大きさ1の単位ベクトル

ヘルムホルツコイルの磁場 ⁸

Wolfram Demonstrations Project

<http://demonstrations.wolfram.com/SpheroidalProtrusionInAUniformElectricField/>

課題

1. 演習書応用問題6.7において、ソレノイド中心軸上の磁束密度の大きさをグラフ化せよ。ただし、半径 a 、ソレノイド長さ l 、単位長さ当たりの巻数 n 、電流 I は自由に決定してよい。
2. 演習書応用問題8.2において、磁束密度の大きさを等高線でグラフ化せよ。ただし、 x 、 y の範囲は自由に決定してよい。

提出期限： 次回講義7/17(火)開始時

提出方法： A4用紙1枚以内(グラフの手書きは不可)

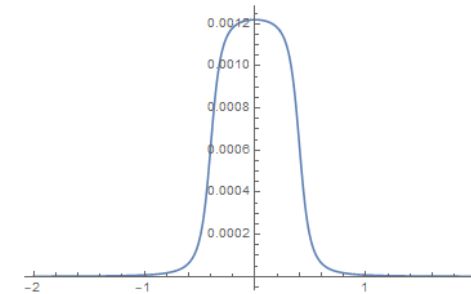
注意： 学生同士の相談は推奨します。

9

ソースコードと計算結果

```
 $\mu_0 = 4 \cdot \pi \cdot 10^{-7};$   
 $i = 1;$   
 $n = 1000;$   
 $l = 80 \cdot 10^{-2};$   
 $a = 10 \cdot 10^{-2};$ 
```

```
 $B[x_] := \mu_0 \cdot i \cdot n / 2 \cdot ((x + l/2) / \text{Sqrt}[a^2 + (x + l/2)^2] - (x - l/2) / \text{Sqrt}[a^2 + (x - l/2)^2])$ 
```



Mathematica v11.1

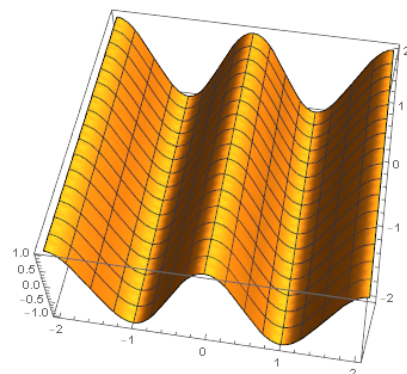
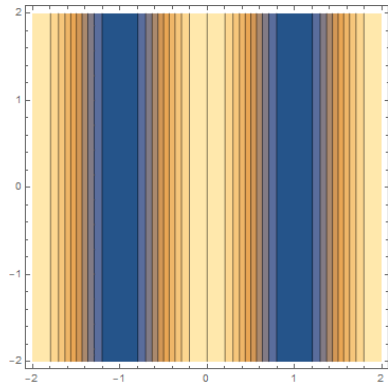
10

ソースコードと計算結果

```
 $B2[x_] := \text{Cos}[\pi \cdot x]$ 
```

```
 $\text{ContourPlot}[B2[x], \{x, -2, 2\}, \{y, -2, 2\}]$ 
```

```
 $\text{Plot3D}[B2[x], \{x, -2, 2\}, \{y, -2, 2\}]$ 
```



11

Mathematica v11.1